

県広報

とやま

ことしの地価調査

ふるさとみてある記 朝日町

特集/特産王国とやま

大好き!とやまのふるさと産品



「艇ありて、一人なし」という名言がボート界にある。他のスポーツと異なり、個人的離れわざや、フラインプレーというものは許されない。

九月、北海道網走漕艇場で展開された国体漕艇競技において、本県勢は昨年を引き続き天皇杯・皇后杯を持ち帰ることができた。まさに、チームプレーの真髄をみる思いであった。

艇上における努力だけでなく、陸上における毎日の生活、心の持ち方、協調性などが調合されて始めて完璧なチームが成立する。雪国というハンディの中で、水上練習の不足を補うため、特に冬季の陸上訓練は人知れず苦勞が多い。ランニング、筋力アップトレーニングなどに励む連日の猛訓練——そこにはシーズンオフというものはない。

私は時々青春の苦しかった日々を思い出すことがある。戦時中、海軍予備学生の訓練の中で、カッター（ボート）漕技で、ローアウトの精神（燃焼し漕ぎきる）をたたきこまれたことである。今でも、海・川など水しぶきを見ると胸さわぎすることもしばしば。本県漕艇界の栄光が、二〇〇〇年国体にまでつながるか、いやつなげねばと誓いながら網走をあとにした。

帰途、遠路漕艇競技を応援にきてくれた本県出身の方々への謝意を述べるために釧路市を訪れた。ここに来て、胸のときめきを感じることに出会った。以前から訪れてみたいと念じていた「金井現代美術館」の多くの傑作に接しえたことである。水揚高日本一釧路の水産界のリーダー金井俊一氏（朝日町出身）の現代美術に対する慧眼にはた

だただ敬服するのみ。コレクションは松本峻介や長谷川利行など異端の作家に始まりその延長線上に花開く現代美術へと続く。

日本近代絵画史上の異才の一人関野正二の作品に接したことも驚きであった。特に関野の「姉弟」は一九一八年の二科展で犇牛賞をうけたもの。阿武隈川畔を姉に背負われて過ぎた関野の幼児期への回想作ともいわれるが、二十才という若さで死去した彼の大正期の青春の輝かしい記念碑ともいえよう。耐えがたい絶望的な境遇の中で孤独感に苛まれ、ひそかに合掌しながら幻視の情景を描いた作その他数々の名作に接して何か宗教画の世界に誘いこまれる思いがした。

漕入魂

富山女子短期大学講師 青柳 正義

また、金井氏が社長を務める釧路フィッシューマンスワーフ（観光・漁業）を訪れることのできたのも望外の喜びであった。これは旧釧路川の幣舞橋下流の右岸十加を新しいウォーターフロントとして開発されたもので、グルメレストランと海産物のショッピングセンターを核とするターミナルビルである。

サンフランシスコの水際面開発の成功に学んだといい、都市と水の自然を見事に融合させた空間を見る思いである。

ボートの「漕入魂」、名作の「筆入魂」フィッシューマンスワーフの「創入魂」それぞれの魂を込めての活動に胸打たれて帰富した次第。



とやま演劇ネットワーク全開！ おもちゃばこ



「今までアマチュア劇団どうしの横のつながりがなく、お互いに情報交換をしたり、他の劇団の公演をみる機会があまりなかったんです。そこで、そうした県内のアマチュア劇団どうしの交流をもっと深め、劇団と演劇ファンの相互交流の場にと、できたのがおもちゃばこなんです」と代表の中村吉成さん。中村さん自身も演劇のおもしろさに魅せられた一人。自分で劇団を作ろうとしてノウ・ハウがわからず苦勞した経験から、県内のアマチュア劇団に演劇のネットワークづくりを呼びかけた。

「参加しているのは、劇団フロンティア、高岡橋の会、劇団すいじんぎなどからのメンバー。こういう場ができたことで、劇団をやりたいという潜在的なファンを掘り起こすことができればね。」

月に一度くらいの割合で例会を開く。そこで新しいイベントを考えたり、公演の批評などを行う。今年の大きなイベントでは、八月に富山の中央通りで行われた人間紙芝居が記憶に新しい。

「今、考えているのは、それぞれの劇団の枠にとられず、適材適所に参加メンバーを配置した劇を上演すること。そうすることによって、役者どうし刺激を与え、県内の演劇のレベルアップにもつながると思います。またゆくゆくは、集中しがちな各劇団の公演日程を調整、一堂に集まったの発表会、演劇ファンへの情報提供も手がけたいですね。」

今、芸術・文化の秋、演劇もまっ盛り。演劇の「とやま」のアマチュア劇団がたくさんあった。おもちゃばこ。これから何が飛び出してくるのか楽しみです。



ふれあい、はずむ対話

知事のまちまわり・朝日町



知事のまちまわりが十月四日、朝日町で行われました。

午前中に、町営桜町団地の建設現場、広域営農団地農道工事現場を視察し、工事の状況説明を受けたあと、蛭谷自治会館での「ふれあい対話」に臨みました。蛭谷地区の婦人など約三十名の方々が三百年も前から伝わるという特産のバタバタ茶で歓迎し、知事は、自分でお茶を立てたり、バタバタ茶の由来の説明を興味深く聞くなど、ふれあいのひと時を過ごしました。

また、午後からは、集落営農で低コスト農業に顕著な成果をあげている大家庄農事生産組合を訪れ、約二十名の組合員の、苦労話や活動状況に耳を傾けるとともに農業振興策等について意見を交換しました。

このほか、棚山ファミリールンド、境海岸護岸工事現場なども視察、特別養護老人ホーム有磯苑では、朝日町リハビリ友の会の皆さんが演じる「白雪姫」を入所者と一緒に観賞し、「元気でがんばって下さい」と一人ひとり激励しました。

地域に根ざすリハビリを求めて

「地域リハビリテーションフォーラム」開催

地域リハビリテーションフォーラム

主催 富山県・富山県高志リハビリテーション病院



シンポジウム
地域に根ざすリハビリを求めて

特別講演
「地域で障害者・老人は何を求めているか」
伊豆通信病院 理事 大田仁史先生



急速な高齢化社会の到来を迎え、地域において、老人や障害を持つ人々のリハビリテーションを支援することが、ますます重要になっていきます。こうした中、九月三十日に富山市内のホルファートとやまで「地域リハビリテーションフォーラム」が開催されました。このフォーラムには県内のリハビリ関係者が六百人参加。地域に根ざしたりハビリテーションのあり方や保健・医療・福祉の連携などについて熱心に議論を重ねました。

午前中に行なわれたシンポジウムでは、県内のリハビリテーション病院の医師、看護婦をはじめ各地域で保健・福祉活動に取り組んでいる保健婦、民生委員などが、それぞれの立場からの意見発表を行い、これに基づいて、会場を巻き込んだの活発な討論がなされました。

午後からは伊豆通信病院で長年、在宅中途障害者の通所訓練に係わってきた大田仁史さんが「地域で障害者・老人は何を求めているか」と題し講演を行いました。

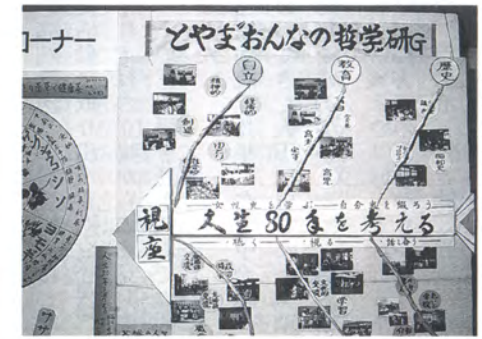
また、同会場には、障害者の方々がリハビリの一環として制作した、手芸品、焼き物、絵画、彫刻、書など五百点ほどの丹精込めた作品が展示されました。

※リハビリテーション…障害の機能回復訓練

第1回県民カレッジフェスティバル



学び、遊ぶ



第1回 県民カレッジフェスティバル

好奇心の心で生涯学習

親鸞の宗教



県民生涯学習カレッジの開学一周年を祝う県民カレッジフェスティバルが十月二日、三日の両日にわたり県教育文化会館で行われました。

式典では吉崎学長が「カレッジは二千を超える学習グループを応援するコミュニティー。よく学び、よく遊び、そしてよく語り合おう」とあいさつ。続いて、名誉学長の中沖知事から、一年間で受講二百単位を達成した藤井外次さんら五人と五十単位以上の百五十四人に認定証が授与され会場から大きな拍手が起りました。

「親鸞の宗教」と題しての梅原猛・国際日本文化研究センター所長の記念講演の後、県内四地区の学習団体が地域の祭りや郷土芸能などの活動成果を披露。茶会や作品展示も行われ、交流を深めました。

国際シンポジウムinTOYAMA'89開幕



国際化時代の企業の明日を探る



国際化時代の経営戦略を探る「国際シンポジウムin TOYAMA'89」が十月五日、六日の両日におたり、富山市の富山第一ホテルで開催されました。

初日は、篠原三代平東京国際大学教授、石井威望東京大学教授がそれぞれ「世界の中のアジア、アジアの中の日本―日本の役割」「先端技術と国際化」と題して基調講演。続いて、EC駐日大使で元オランダ首相のアンドレアス・ファン・アフト氏が「EC統合と日本」のテーマで記念講演を行い、この後、中村秀一郎多摩大学教授をコーディネーターに「グローバルバリエーションへの企業の対応」をテーマにパネルディスカッションが行われました。

二日目は、テーマ別に三つの部門に別れての討論、総括講演の後、テクノフェア'89や工場の見学などが行われました。

この事業は、昭和六十年から全国の主要都市で開催されており、昨年の大阪に続いて今年で五回目。今回の大会には、地元企業関係者など四百五十人が参加し、企業経営と技術開発の在り方について熱のこもった議論が行われました。

大好き！とやまのふるさと産品

ふるさと産品

みよりの秋本番、今年も富山のおいしい富が山とみりました。農林水産品やそれを活用した加工品をはじめ伝統工芸品など、県内各地にある特産品はふるさとづくりの大きな要素です。富山県では、昭和六十二年に「特産王国とやま推進会議」が組織され、特産品の生産から流通・販売にかかわる行政機関・民間団体が一体となった積極的な「特産品づくり」が進められています。



地域特産品の開発

特産品の生産の振興を図るため、県では、パイロットファーム育成事業、地域振興作物等普及活動事業などを通じて、特産地の育成と特産の定着化、機械施設の導入などの活動に助成をしています。現在、地域振興作物として指定を受けているのは、ハトムギなど十一品目あり地域の特産品としてその生産の増大に力をいれています。

また、普及所、農業技術センターのプロジェクトチームによる地域の特産物にする作物の選定や技術の地域適応診断・適合栽培技術の策定など新しい特産物育成に力を入れています。今、進められているものには、上市町のりんごや八尾町のタラノメなどがあります。

特産王国づくり

昭和五十六年度から県内各地に特産の



特産王国
とやま
生産の振興



里七十地区を選定。水稲に代わる新しい農業を展開するための意欲的な取り組みがなされています。

またここでは、単に特産品の栽培にとどまらず余剰分や規格外品の有効利用を兼ねてシーズン以外でも味わえるようにと加工したり、消費拡大のためにおいしい料理法を研究したりと特産の需要拡大「ふるさとの味」づくりへの努力がなされています。

特産王国 とやま 販路の拡大



特産品開発流通促進

農産加工品の開発の促進や特産品のグリードアップを図るため、商品パッケージの試作などを行う特産品開発流通促進委託や市場の専門家であるマーケティングアドバイザーを招き助言を受けながら特産品の販路拡大をめざします。また、富山県デザイン研究会を昭和六十年に設置し、デザイン・ネーミング等に新しい

情報提供

推奨特産品の紹介や広告を掲載したガイドブック「ふるさとの特産品」を六千五百部発行。市町村や商工会連合会に配布しています。

また、むらおこし推進協議会でも、今年からタブロイド版情報紙「いきいきとやま特産便」を発行。特産品の写真、価格などをまとめた商品紹介をするほか、特産品づくりに打ち込んでいる姿など、特産品ができるまでの工程をストーリーを持たせた形で紹介しています。これは十三ページ、カラー刷りで三万部発行し県内のホテル、旅館や公的施設、全国の物産展、イベント、JR各駅に配布しています。

販路拡大のための懇談会

むらおこし推進協議会では、特産品の消費地として期待される宇奈月温泉のホテル・旅館関係者と販売方法について意見交換を行い、特産品の販売促進を図っています。

また、若い世代の商品ニーズを把握するため、富山女子短期大学の学生と生産者との懇談会を行うほか、学園祭で学生と特産品生産者との共同販売を実施、学園祭に訪れた学生の反応を探る事業を展開しています。

特産王国とやまの

イメージアップ

富山県のイメージアップを図るチューリップキャンペーンを実施し、物産のPRと販路拡大をめざします。

・花の大阪チューリップキャンペーン

(大阪 JR大阪駅、4/1~5/26)

・とやまフラワーアート

(富山 松川べり、4/29~5/1)

・チューリップデコレーションコンテスト、展示

・銀座みゆき通りチューリップカーペット



(東京 銀座、4/29)

・チューリップカーペットの制作

・TOYAMA NOW in 原宿'89

(東京 原宿、4/3~9)

・チューリップがこんにちは、チューリップギャラリ

・'89いきいきとやまパフォーラム

(東京、11月)

県産品の常設展示

- ・東京 池袋生活用品振興センター
- ・名古屋 愛知県産業貿易館
- ・兵庫 神戸貿易促進センター
- ・北海道 北海道富山会館
- ・大阪 近畿富山会館
- ・東京 富山会館
- ・富山県食品研究所
- ・北陸自動車道小矢部サービスエリア
- ・富山産業展示館

物産展の開催、見本市等参加

見本市等の開催及び参加による販路拡大

(県外)

・ふるさと東京ドームフェア

(東京ドーム、1月)

・富山県の特産市

(大阪 阪神百貨店、11/2~3)

・富山県の物産と観光展開

(東京 池袋西武、11/10~15)

・ニッポン全国むらおこし展

(東京 池袋サンシャインシティ、11月)

(県内)

・特産王国とやまフェスティバル

(10/14~15)

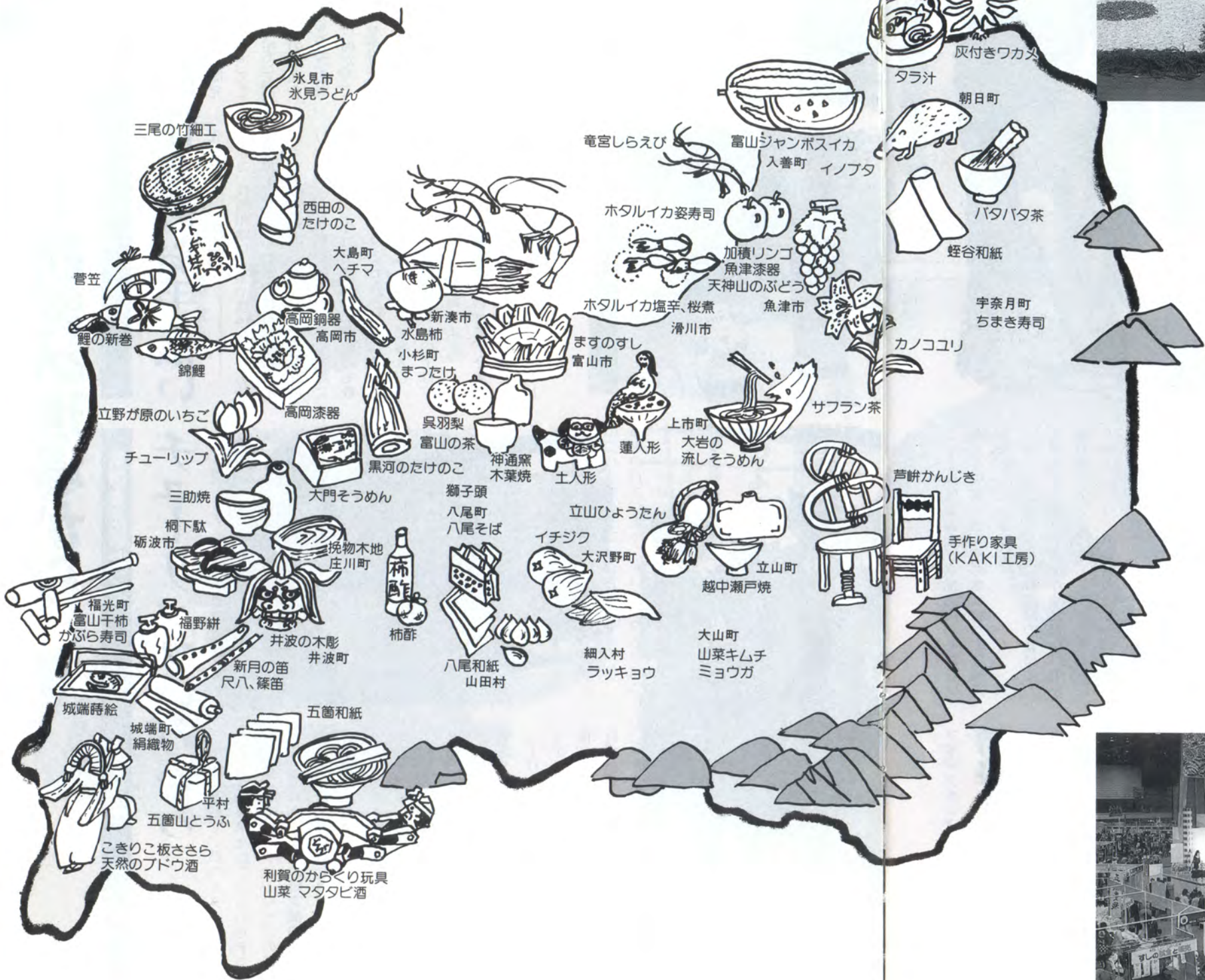
・とやまトレードフェア'89

(6/22~25)

・富山県伝統的工芸品展(8/18~23)



特産品マップ



特産づくり研究の現場から

食品研究所 野菜花さ試験場

新しい特産品作りのお手伝い

ここで行われている主な仕事は、開発研究と技術相談。開発研究では県内でとれる農林水産物の利用とそれを用いて高い付加価値をもった特産加工品の開発を行っています。今までに開発された主なものは、柿酢、牛・豚の骨入り肉だんご梨ワインなどがあり、柿酢はあまりに有名になるほどの好評、肉だんごは骨入りをまったく感じさせないおいしさ、呉羽梨を使った梨ワインはいっふう変わった色彩と新しい特産品つぎに開発しています。今年では従来北洋産のスケソウタラを用いていたすりみを富山湾産のカワハギやイワシなどを使って作るという研

チューリップいろいろ



特産品として、県のイメージアップに大きな役割を果たしているのがチューリップ。ここでは、チューリップの新品種づくりの日本で唯一の研究機関としてさまざまな研究が行なわれています。新しい品種としては黄色の少し大きめの花黄小町や紫水晶、白雪姫など今までに十五種類を開発。この地に開花期を自由に調節できるアイスチューリップなどの研究実績があります。

また、最近では、バイオ技術の発達に伴い、従来の花よりも大きな花を持つチューリップの開花や住友化学と共同でチューリップの開花期を遅らせたり、切り花の日持ちを長くする研究などが進められています。



網元醤油 味ぶるまい

究極のカップルをめざして

「どうせ作るんなら一番水見らしいものをと思い、考えたのが魚には欠かすことのできない醤油。『これだ』というものを作るのにはなかなかむずかしいですね。」と水見No.1サークル代表の伏脇博さん。市内に八軒ある醸造元の醤油を吟味。選ばれた一社に試作を依頼し、約一年がかりで地元の漁師もうならせる「究極の醤油」ができた。

「『味ぶるまい』はコクとまろみが身上。特に刺身には最適です。」とのこと。水見のきときとの魚、ますますおいしくなりそうです。



牛肉の昆布じめ刺身

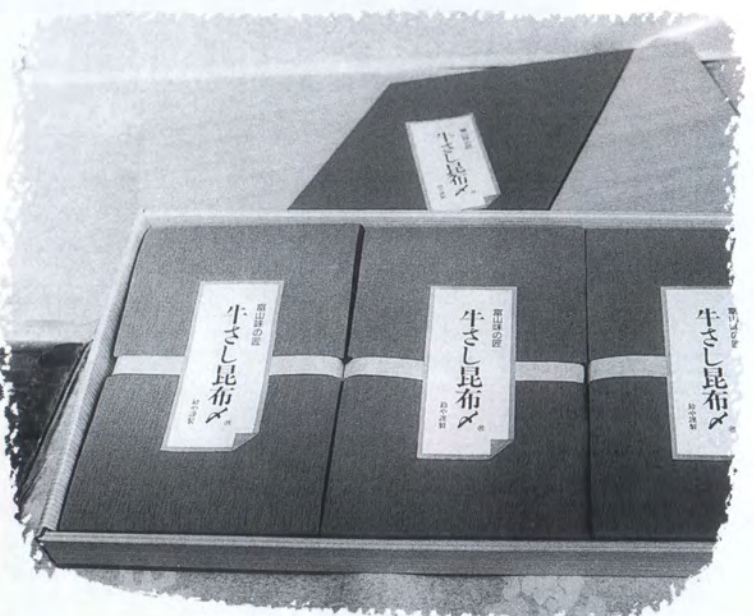


ちよつと変わったNEWカップル誕生

県肉用牛センターが完成し、バイオテクノロジーによる受精卵移植もできるようになるなど「とやま肉牛」の特産化が進められています。そして開発されたのがこの牛肉の昆布じめ刺身。

「新鮮な魚を昆布にはさみ、重石をかけてつくる昆布じめ刺身を牛肉に応用した

もの。みんなに親しまれる新しい富山の味を作ろうと思って」と発案者の石川和幸さん。肉も肉牛の段階で指定した特選の富山牛肉を使い、昆布も牛肉に最も合うものを選んだだけあって、味もなかなかの好評。新しい富山の味これだから楽しみです。





集う人々の心をなごませ

人生の節目に

一すじのあかりを刻み続ける

磨かれた腕

老練な手もと



PIN-UP TOYAMA ろうそくを作る (富山市)

撮影 / 滝川邦彦

"豊かな郷土を拓くための婦人能力の伸展" "明日を拓く青少年の健全な育成"をめざして

レポーター:田中花子さん(富山市)



田中●最近、青少年に有害な「残虐ビデオ」が問題になっていますね。

県では、青少年保護育成条例にもとづいて、そのような有害なビデオや本を有害図書等に指定して、十八歳未満の青少年への販売等を禁止しています。また、

有害図書・残虐ビデオの追放



富山県青少年育成県民運動推進指導員、二九二名を中心として、PTAなどの協力も得て、青少年の健全な育成のための環境をつくる運動のネットワークづくりを進めています。

豊かな明日の郷土を拓くために 「青年の翼」 「婦人の翼」

田中●海外派遣事業として設けられている、「青年の翼」は、どういう趣旨のものですか。
国際的視野を広げていただき、諸外国との相互理解を深めて、豊かな郷土の明日を拓くリーダーとして活躍してもらうことを目的に実施しているものです。

- 海外派遣事業——国際交流を通して視野を広め、活発な活動を!
 - 婦人大学校——女性としてのあり方をいま一度見直してみませんか。
 - “とやまチャレンジウォーク25”——自分の体力に挑戦してみませんか?
- 婦人青少年課は、女性の地位向上などの女性問題や青少年の健全育成に取り組んでいます。

海外では、産業・教育・福祉・農業や婦人問題などテーマ別に意見交換・施設見学や、ホームステイを行います。この事業に参加した人達には、事後活動として、外国人による日本語弁論大会に協力したり、ホームステイの受け入れ、ボランティア活動など国際交流事業に参加してもらっています。



あひらのスケジューラに 「婦人大学校」の講座を!!

田中●婦人大学校では何をなさっているのですか。
婦人大学校では、県内外の講師を招いて十講座を開講しています。女性についての問題を心理学・経営学・社会学など様々な切り口から考察していて好評です。また、生涯学習レジジと連携もついています。今年度は講義の内容をビデオにしましたので、ここで学習していただいたこ



田中●青少年の家で色々な催し物が開かれています。最近はそのようなものがありましたか。

八月六日に「とやまチャレンジウォーク25」を開催しました。砺波青少年の家から二上青少年の家までの約二十五キロを早朝に出発し、すがすがしい空気をいっぱい吸って自然に触れながら歩くのですが、十歳から八十五歳までの幅広い年代の方々が参加され、約八割の方が最後まで歩きとおされました。参加者は、体力に自信がついたとか、みんなと一緒に励ましあいながら歩いて交流が深まったといった感想を述べられ、大変好評でした。

田中●興味深い催し物がたくさんありますね。私もぜひ参加してみたいと思います。今日はどうもありがとうございました。



とを地域や職場に持ち帰って、一人でも多くの人に広めていただきたいと思います。

ふるさと
みる記

朝日町

朝日町の宮崎海岸は、波で打ち上げられたヒスイの原石が拾えることからヒスイ海岸と呼ばれている。ここの名物タラ汁を目当てに訪れる

ヒスイ海岸の名物タラ汁

観光客は、年間約三十万人もいる。

「北陸自動車動が開通して



からは関東方面からの客が多くなつたね」と話すのは、宮崎・境海岸観光組合長の竹谷貞さん。竹谷



さんは越中宮崎駅がきた直後の昭和三十三年から店を始め、駅前ではタラ汁の草分け的存在だ。かつてタラ汁は漁師の昼食だった。女たちは浜で湯を沸かしながら男たちが漁から帰るのを待つ。船が着くとイキのいいタラをぶつ切りにし、鍋にほうり込んでご飯のおかずにする。これがタラ汁の始まりという。

「初めのうちは学校の遠足の生徒相手に、春と秋に浜でタラ汁を作ってたんだけど、今では季節は関係なしだね。夏の海水浴時期にも暑いタラ汁を注文する人がたくさんいるよ」と竹谷さん。親不知沖では一年中タラが取れ、その日に取った新鮮なものが食べられる。

「泊まる人よりも予約を断わる人の方が多いくらいだね。旅館・民宿を合わせても収容人員が九百人というのはいくらも少ないよ。宇奈月に泊まって、昼にここへ寄っていかれる常連の人もいますからね。これからもっと施設を整備して、お客を呼びますよ」と竹谷さんは意欲満々だ。



喜びも哀しみも バタバタ茶で

朝日町の蛭谷という山あいの集落に、素朴ならわしが残っている。子供の誕生、入学、結婚や各月の命日など何か行事のある時に、親戚や近所の人を集めてお茶を飲むというもので、茶せてバタバタと泡立てることから「バタバタ茶」という名前がついた。

「二千年ほど前に中国から伝えられたそうですよ」と蛭谷の松原スミさん。バタバタ茶は三番茶と棒茶を混ぜて発酵させたもので、飲んでみるとウーロン茶を濃くしたような味がする。「こ

朝日町の概要

人口 18,414人 (9月1日現在、県人口統計調査)

面積 227.41km²

朝日町は、日本海から北アルプスにわたる広い町域を持ち、海岸にはヒスイ、山には高山植物と見どころも幅広い。また最近では、北陸自動車道の全線開通に伴ない、観光客誘致の計画がすすめられている。



の辺りの人はこれがないと生きていけないくらい。一日に何十杯も飲むこともありますよ」とのこと。

今年の四月からはバタバタ茶の缶詰めが発売された。宣伝・試飲の分を含め約八万本製造、高速道路のサービスイリアや富山市内のデパートで販売されている。現在缶詰は町外の企業で生産されているが、朝日町商工会では「将来町内でも作りたい」と考えている。お茶の木も町内に三千本植えられ、数年後には自給できるそうだ。

聞くところによると、蛭谷には長寿の人が多くいるという。「バタバタ茶には格式ばった礼儀作法が何もないんですよ。好きな者が集まって気軽に飲んでれば楽しいからね。ソリや長生きてきるちゃ。蛭谷の人たちの長寿の源となる楽しい茶会はこれからも続くことだろう。」

家族みんなで 楽しくビーチバレー

ビーチボールを使った手軽なレクリエーションとして主婦の間で人気のビーチバレーボールは、朝日町が発祥の地。昭和五十三年に



ルールが完成し、五十九年からは毎年この朝日町で全国親善大会が開かれている。第六回目の今年、全国から二百余りのチームが集まった。その激戦の中、十八歳以上の部で朝日町のフレッシュゲルメイツが優勝。このチームも全国大会を目標にしている、力の入れ方が違いますから、そこで優勝できたのはうれしいですね」と話すのは松沢正隆さん。ゲルメイツは三年前に作られた三十人余りのチーム。二十代から六十



「朝日町ではもう八十もチームがあるので増えないだろうが、ほとんど全国には広がっていないと思いますよ。もっと強いチームが出てくると厳しいけど、おもしろくなるでしょうね」とまだ余裕たっぷりだ。

代までと構成員の層が広く、チーム内で家族ぐるみの大会を開くほど、和気あいあい楽しくやっている。

ビーチバレーは簡単に始められ、運動量も多いので、「スポーツをしたことがなかったけど、一回やってやみつきになった」と言う人も多い。また「背が高くて強そうなチームでも、のりくらりとしたチームに負けることもある」という意外性もウケている。

ことしの地価調査

平成元年10月3日発表

適正な地価の形成を目的として、県下254地点(宅地243地点、林地11地点)の基準地を選び7月1日時点の価格を調査したものです。今年から、国の行っている地価公示(1月1日時点、4月1日公表)との共通調査地点が13地点設けられています。

1. 宅地及び宅地見込地 (単位 1平方メートル当たり:円/変動率は前年比:%)

所在地及び地番	価格	対前年変動率	所在地及び地番	価格	対前年変動率
富山市			水橋市田袋1-1	28,800	1.8
◆住宅地			田中町字道化割61-17外	54,500	3.8
※舟橋南町6-20	190,000	(2.7)	岩瀬銭田町12-4	33,000	0.6
鹿島町1-7-16	170,000	6.3	上野新町134外	45,300	3.4
西大泉11-7	135,000	8.0	上赤江町1-8-2	53,000	1.9
布瀬町字黒免割608-7	85,000	3.0	◆工業地		
大町字下田割48-10外	94,000	5.3	岩瀬古志町2-2外	14,500	7.4
二口町字茶苗代割49-3外	113,000	18.9	◆市街化調整区域内の宅地		
田中町字并割3-1	48,800	2.7	秋ヶ島227外	54,000	10.4
本郷町44-13	64,800	8.0	城村新町66	22,300	1.4
西長江3-3-40	74,300	2.9	水橋小路2-1	15,700	2.6
大泉東町2-6-10	143,000	3.6	古志町5-103	24,500	0.4
中川原字中野島割213-16	48,500	6.6	八町4000-2外	17,600	1.7
本郷町字万年割107-54	43,100	1.2	願海寺字館本741-3外	24,500	4.7
※秋吉字大曲割1-107	72,200	(1.0)	高岡市		
経堂字苗代割339-1外	44,000	2.3	◆住宅地		
藤の木園町144	44,300	2.1	中川上町8-16	107,000	0.9
大島2-430-4	39,700	1.3	蓮花寺327-1外	50,500	1.4
※奥田寺町9-13	150,000	(8.7)	井口本江字中坪500-20	74,000	-
手屋416-5	30,000	3.8	大野277-6	78,000	-
四ッ葉町21-44	59,900	3.8	泉町10-40	82,500	(0.1)
中島3-8-52	53,900	4.1	宮田町6-19	65,700	1.5
※新庄町字馬場73-5	49,500	(1.0)	あわら町16-10	92,000	0.4
松若町14-28	47,500	3.7	室町10-18	71,500	1.1
※米田すずかけ台2-102	54,000	(2.3)	石瀬172-4	65,500	2.0
花園町3-2-5	158,000	12.9	京町6-14	79,000	1.0
栄町1-8-15	111,000	1.8	能町南1-23	56,500	2.7
田畑字西沼78-17	31,500	2.3	博労町5-2	78,400	0.6
水橋中町字西中町572	22,500	0.9	中田字木村4378-1	25,900	1.2
布瀬町字砂田割233-1	103,000	14.4	伏木古府1-2-43	48,000	1.1
四方字大江添234-1外	66,500	3.9	伏木古府3-3-45	45,400	1.1
五艘字深田1357-24外	76,300	2.6	戸出町3-1-62	49,500	1.2
呉羽町字藤の木6748-1外	40,300	2.0	戸出町5-8-5	44,200	1.1
呉羽町字猪谷7354-5外	66,800	2.0	※江尻字村前100-28	65,600	(1.4)
赤田703-2	48,500	-	◆宅地見込地		
五福字善尋1093-1外	84,300	2.2	石瀬522	35,600	1.4
五福字御用地5149-3外	67,500	2.0	◆商業地		
奥田町9-24	149,000	16.4	末広町2-4	990,000	1.9
◆宅地見込地			昭和町3-3-18	125,000	3.3
大島字北苗代割309外	16,300	3.2	白銀町40外	157,000	0.6
小杉193-1外	20,800	3.0	伏木古国府3-8	96,800	0.8
五艘字桜谷1823外	28,900	2.1	戸出町2-7-15	75,200	1.3
◆商業地			下麻生字星田1290-5外	38,700	1.0
中央通り1-6-6	1,750,000	4.2	※駅南1-8-29	276,000	(4.2)
総曲輪1-6-1	980,000	14.6	◆準工業地		
西町7-2	910,000	16.7	六家字畑田1209-1	62,500	1.8
牛島新町8-10	360,000	20.0	本郷2-2-5	117,000	2.6
※泉町1-1-3	315,000	(9.8)	荻布字前向311-1外	71,500	2.1
栄町2-7-10	188,000	8.0	◆工業地		
南田町1-2-10	211,000	4.5	戸出栄町55-9	22,300	1.8
荒町5-5	1,140,000	16.6	◆市街化調整区域内の宅地		
安野屋町2-6-9	272,000	11.9	太田581-1	17,800	0.6
※星井町3-6-18	410,000	(2.5)	五十里西町49	30,700	1.7
小泉町字五百刈割91-2	246,000	11.3	中保238-13	36,700	1.1
五福字氷代割3392-3	220,000	3.3	長江222-2	41,600	0.7
石金3-1-6	132,000	1.5	戸出春日597外	26,800	1.1
西田地方字久内割201-6	330,000	7.8	新湊市		
新富町2-4-25	945,000	20.5	◆住宅地		
室町1-4-14	1,200,000	-	善光寺30-20	53,400	0.2
大泉字養田割1526-1外	187,000	7.5	桜町9-6	58,200	0.3
※桜町2-1-8	1,550,000	(14.8)	草岡町1-9-7	21,700	1.4
◆準工業地			※三日曾根13-8	59,900	(0.5)
湊入船町14-32	94,000	10.6	◆商業町		
黒崎字高木割168-1外	365,000	-	立町3-8	123,000	1.7
中央町1-14	63,600	1.0	◆準工業地		
◆準工業地			新片町1-4-5	27,200	0.7
◆工業地			◆工業地		
奈呉の江12-2	13,900	0.7	◆市街化調整区域内の宅地		
殿村476-1外	24,000	-	魚津市		
◆住宅地			◆住宅地		
本江字黍野1700-3外	82,500	2.2	上村木1-4-3	96,500	3.5
上村木1-4-3	96,500	3.5	吉島308-1	46,200	2.0
吉島308-1	46,200	2.0	金浦町1-33	110,000	-
◆商業地			◆商業地		
上村木1-7-8	218,000	5.8	◆準工業地		
◆準工業地			上村木2-9-21	125,000	4.2
上村木2-9-21	125,000	4.2	氷見市		
◆住宅地			◆住宅地		
朝日丘2-26	68,500	0.4	柳田674-2外	34,000	1.5
柳田674-2外	34,000	1.5	島尾字浦2117-1	29,200	0.3
島尾字浦2117-1	29,200	0.3	栄町15-17	36,500	1.4
◆商業地			◆商業地		
本町13-6	147,000	1.4	◆準工業地		
◆準工業地			幸町5-7	123,000	2.5
幸町5-7	123,000	2.5	滑川市		
◆住宅地			◆住宅地		
辰野字向林割97-33	31,400	2.3	上小泉字北村815甲外	30,800	2.0
上小泉字北村815甲外	30,800	2.0	高月町390-3外	36,000	4.0
高月町390-3外	36,000	4.0	吾妻町2464-2外	53,400	2.9
吾妻町2464-2外	53,400	2.9	◆商業地		
◆商業地			下小泉町13-10	95,000	1.6
下小泉町13-10	95,000	1.6	◆準工業地		
◆準工業地			石瀬522	24,500	5.2
石瀬522	24,500	5.2	柳原字大法173-2外	24,500	5.2
柳原字大法173-2外	24,500	5.2	黒部市		
◆住宅地			◆住宅地		
荻生字新堂6675-3	50,000	4.8	荻生字新堂6675-3	50,000	4.8
荻生字新堂6675-3	50,000	4.8	生地芦区124-3	32,400	1.3
生地芦区124-3	32,400	1.3	岡83-13外	29,700	1.7
岡83-13外	29,700	1.7	三日月寺町3859-3外	63,500	1.1
三日月寺町3859-3外	63,500	1.1	◆商業地		
◆商業地			三日月寺字三島1047-2外	115,000	0.9
三日月寺字三島1047-2外	115,000	0.9	◆準工業地		
◆準工業地			三日月市字金屋2372-1	61,900	1.1
三日月市字金屋2372-1	61,900	1.1	砺波市		
◆工業地			◆住宅地		
戸出栄町55-9	22,300	1.8	◆住宅地		
戸出栄町55-9	22,300	1.8	本町8-6	62,000	1.6
本町8-6	62,000	1.6	平和町3-67	57,200	1.6
平和町3-67	57,200	1.6	太郎丸字鍋島865-6	47,200	1.5
太郎丸字鍋島865-6	47,200	1.5	一番町2-40	65,000	1.1
一番町2-40	65,000	1.1	◆商業地		
◆商業地			表町3-3	196,000	2.1
表町3-3	196,000	2.1	◆準工業地		
◆準工業地			豊町6-38	65,000	1.2
豊町6-38	65,000	1.2	小矢部市		
◆住宅地			◆住宅地		
八和町1-10	71,500	2.4	八和町1-10	71,500	2.4
八和町1-10	71,500	2.4	綾子字北島240-2	53,000	3.1
綾子字北島240-2	53,000	3.1	清水字古村島2990-4	31,000	2.3
清水字古村島2990-4	31,000	2.3			

地価は、その土地について、自由な取引が行われた場合に通常成立すると認められる価格で、売り手にも買い手にも片寄らないものです。地価の上昇率は、昨年に続いて前年を上回り、2.8パーセントの上昇となりました。用途別にみると、住宅地2.3パーセント、商業地4.6パーセント、準工業地2.7パーセントの上昇となっています。なお、地価調査の詳しい内容については、各市町村の窓口で閲覧できます。

●県平均(宅地)年度別上昇率の動き

年	度	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	元
対前年上昇率%		5.7	8.2	7.4	6.0	3.6	2.5	1.9	1.7	1.4	2.4	2.8

西町7-20	40,000	2.0	井田516-3	20,500	2.5	上平村		
◆商業地			福島字天の平76-13	234,000	0.4	◆住宅地		
新富町2-21	97,000	1.0	◆商業地			細島字下巡1011-1	8,600	0.5
◆準工業地			大字八尾町字東町2208-1	68,500	0	新屋字地開津546-1	7,380	0.5
今石動町1-4-35	81,000	2.0	◆準工業地			利賀村		
大沢野町			井田字石坂4218-1外	34,600	0.3	◆住宅地		
◆住宅地			湯中町			岩測字久保平186	2,180	0.5
上二杉425-1外	26,800	2.3	◆住宅地			利賀字上島295-1	3,230	0.6
下大久保字四番割1426-5	22,500	1.8	笹倉490-1	31,100	1.0	庄川町		
笹津467	29,500	0.7	袋字宿免348-44	24,000	1.7	◆住宅地		
◆商業地			分田258-3	34,000	3.0	青島字松川除前3658-12	24,600	1.2
長附字屋敷割139-30	39,800	1.0	◆宅地見込地			青島字下川原21-2外	21,900	0.9
◆準工業地			田島871	12,600	2.4	金屋字了安1314-1	15,800	1.3
上大久保1035-1外	32,800	4.1	山田村			◆商業地		
◆住宅地			◆住宅地			金屋字畑直2680-6外	55,600	1.4
中瀬字前反園2703	2,850	0	中瀬字前反園2703	2,850	0	井波町		
中村字谷口1156外	3,550	1.4	細入村			◆住宅地		
◆住宅地			猪谷字一枚田547-1	19,300	1.0	山下88	62,200	1.0
◆商業地			榆原字西上島3235-9外	105,000	1.0	北川字大藪348-27	35,500	1.1
舟橋村			小杉町			井波字木崎野1950-59	32,000	1.9
◆住宅地			◆住宅地			◆商業地		
仏生寺43	17,500	-	手崎字石太郎1005-6外	38,600	1.3	本町1-44	98,500	1.5
上市町			戸破字加茂1887-4	39,600	1.5	井口村		
◆住宅地			南太閤山15-11	49,000	1.7	宮後258	9,400	0.5
横法音寺字長田46-1外	28,000	2.9	※三ヶ2509-1外	42,600	(1.7)	蛇喰153-1外	5,230	0.6
大坪字上長2-4	47,000	2.2	◆宅地見込地			福野町		
若杉新2-6	19,800	2.1	三ヶ2450	16,000	3.2	◆住宅地		
◆商業地			◆商業地			字大畑島1128-3外	75,000	0.8
三日市字西門前3-19	78,000	2.0	三ヶ字中吉原3313-9	61,000	1.2	松原字道教島1267-3外	51,100	1.2
◆準工業地			◆準工業地			二日町字中島480外	41,300	1.0
上経田4-70	30,700	2.0	手崎字弘堂396-1外	19,900	2.1	◆商業地		

11月は伝統的工芸品月間

暮らしの中に潤いを

私たちの身の回りには、長い歴史と風土に育まれた工芸品が数多くあり、私たちの暮らしに豊かさや潤いを与えてくれています。

これらは、美術品とは異なり、私たちの日常生活の中で使われ、培われてきた日用品です。従ってその最大の魅力は、手作りのものだけが持つ温もりであり、実際に手にとってみてこそ感じられるものです。

このような工芸品のうち、一定の条件を満たすものは「伝統的工芸品」として国から指定されています。(県内では高岡銅器、井波彫刻、高岡漆器、庄川挽物木地(材料)、越中和紙の五品目) 毎年十一月は、国・県・産地が一体となって各種の催しを行い、作り手と使い手のふれあいを通じてその普及を図る「伝統的工芸品月間」です。ぜひこの機会に、伝統的工芸品の良さを見つめ直してください。



第10回 富山県婦人美術展

日時 十一月十一日(土)～十五日(水) 十日～十八時(十一日は十三時三十分から) 場所 県民会館・美術館ギャラリー 部門 日本画、洋画、彫刻、工芸、書入場料 無料 問合せ 富山県芸術村文化協会へ (0764・41・8635)

「県民パソコン工房」のついでに 受講者募集

●日時 (応用ワープロコース) 十一月七日、八日、九日 九時～十二時 (ペーシックコース) 十一月二十日、二十一日、二十二日、二十四日、九時～十二時 (ビジネス利用コース) 十一月十五日、十六日 九時～十六時 [年賀状ワープロコース] 十一月二十八日、二十九日、三十日、九時～十二時 ●場所 小杉町黒河 富山県情報教育センター ●料金 無料 ※詳しくは、富山県情報教育センターへ 0766・56・7161

健康で安定した毎日を送るために 年に一度は 成人病予防検診を

政府管掌健康保険の被保険者及び扶養されている配偶者で三十五歳以上の方を対象に成人病予防検診を行います。検診を希望される方は事業主を通じてお申し込み下さい。 ※詳しくは、富山県社会保険協会へ 0764・91・3774

11月15日から 狩猟解禁日

十一月十五日から翌年二月十五日まで狩猟が解禁となります。狩猟者の皆さんは、解禁に備え法令の知識を再確認するとともに、狩猟場ではベテランの狩猟者であっても基本的に忠実な銃器の取扱いに心がけて下さい。特に狩猟における事故をなくすためにも、狩猟者の皆さん一人ひとりが危険防止に配慮し安全狩猟に努めて下さい。また、この期間に山野等に入られる方は人目につきやすい服装を身につけられるなどの注意を払って下さい。

11月9日～15日までの一週間

秋の全国火災予防運動

11月9日から15日までの一週間、おとなりにあげる安心 火の始末」をテーマに秋の全国火災予防運動が実施されます。

お年寄りや身体の不自由な方を中心とした防火安全対策の徹底、家庭や地域における防火対策の推進、デパート、旅館、飲食店など不特定多数の人が出入りする場所や高層建築物における防火安全の確保を重点目標に、県内各地で火災予防を呼びかけます。

詳しくは、富山県消防防災課、又はお近くの消防本部、消防署までお問い合わせください。



雇用保険 不正受給 防止月間

雇用保険は、離職し、働く意思・能力がありながら、まだ仕事が見つからないという方々の再就職をお手伝いするために支給するものです。しかしながら、一部でこれを悪用した不正受給も目立っています。クリーンな受給でさわやか就職に御協力下さい。

健康保険等の加入促進 について

従業員を常時五人以上雇用する個人事業所(農林水産業・飲食店・サービス業などを除く)や、すべての法人事業所は、健康保険・厚生年金保険に加入することが義務づけられています。未加入の事業所は、もよりの社会保険事務所へおたずねください。

県税でお困りのときには御相談を

■財産が災害や盗難にあった、本人や家族が病気やケガをした、事業に著しい損失を受けた……など、県税を納めることに支障が生じたときには、所轄の県税事務所に御相談ください。事情により納税が猶予されることがあります。

■そのほか、県税についてお困りのことがあれば、お気軽に御相談ください。

県和の取扱い・相談は

県税についての相談や苦情がありましたら、お気軽に下記の県税事務所までご連絡ください。

Table with 3 columns: 事務所等, 所在地, 電話番号. Lists tax offices in various cities like Toyohashi, Toyakawa, and Toyakawa.

県税の納税窓口は

県内の銀行、信用金庫、農協、漁協、信用組合又は県税事務所まで納めてください。

●県税の所管区域図



「この社会 あなたの税が生活している」

11月は、納税強調月間

県政の動き

9月11日～10月10日

- 9月12日 財団法人帆船海王丸記念財団理事会
- 9月13日 心身障害者雇用促進会
- 9月16日 9月定例県議会 (27日)



第26回交通安全県民大会

- 9月20日 招致外国青年歓迎の集い
 - 9月22日 少年の主張 富山県大会
 - 9月28日 知事のまちなまり (井波町)
 - 9月30日 第33回富山県青年議会
- 地域リハビリテーションフォーラム
富山県立大学フォーラム'89



- 10月1日 インターデザインセミナー'89(～16日)
 - 10月2日 第一回県民カレッジフェスティバル (～3日)
 - 10月4日 知事のまちなまり (朝日町)
- 第5回富山県育樹祭
富山県社会福祉大会
- いきいきとやま
第2回健康と長寿の祭典(-6日)



- 10月5日 国際シンポジウム in TOYAMA(～6日)
- 10月6日 県営かんがい排水事業射水山麓地区完工式
- 10月6日 とやまテクノフェア (～9日)
- 10月7日 工芸都市高岡クラフトコンペ
- 10月7日 球根まつり(～10日)



- くすりと生活展 (～8日)
- 10月8日 第27回富山県身体障害者体育大会
- '89全国勤労者綱引大会



(富山の「T」をモチーフに、若さ、進歩、発展、向上心等をシンボライズしています。)

七月からの公募に全国各地から二、四四四点(県内五二〇点、県外七二四四点)の応募があり、審査の結果、最優秀賞、このマークは、富山の「T」をモチーフに若さ、進歩、発展、向上心等をシンボライズしたものであり、学術の創造・地域の発展をめざす県立大学の顔として、校旗や校舎の壁面等に幅広く活用します。

また、優秀賞として杉本光康さん(立山町、会社員、40歳)ほか3名、高校生奨励賞として駒方さゆりさん(高岡市、高岡工芸高校三年、18歳)の作品が入選しました。

富山県立大学のシンボルマーク決まる

富山県の三大プロジェクトの一つとして準備が進み、来春四月、科学技術の新たな拠点として小杉町に開学予定の富山県立大学のシンボルマークが決まりました。

平成元年12月街頭献血

日	曜	場 所	時 間
2	土	高岡駅前	10:00～15:30
		氷見市ハッピータウン前	10:00～15:30
3	日	黒部市「メルシー」ショッピングセンター前	10:00～15:30
4	月	立山町役場前	10:00～15:30
9	土	富山西武前	10:00～16:00
10	日	富山西武前	10:00～16:00
11	月	井波町保健センター前	10:00～15:30
16	土	富山市「アビタ」ショッピングセンター前	10:00～16:00
17	日	富山市中央通り	10:00～16:00
18	月	入善町役場前	10:00～15:30
23	土	富山駅前	10:00～16:00
		高岡駅前	10:00～15:30
24	日	高岡駅前	10:00～16:30
28	木	富山市中央通り	10:00～16:00
29	金	富山西武前	10:00～16:00
30	土	富山西武前	10:00～16:00

子ども家庭110番開設



十月一日(日)から、富山県児童相談所で子ども・家庭110番電話相談を始めました。

子どものすこやかな成長についての悩みや不安など次のような相談にご利用下さい。

- しつけ、ことば、くせ、遊び…
- 内気、反抗、乱暴、性格…
- 登園、登校をしたがらない…
- 子育てに不安…

専門的な内容の相談についても、各分野の専門家(医師、弁護士、教育者等)が加わりバックアップいたします。

電話 0764-221-5110

相談時間 平日 9時～21時

土、日、祝祭日 9時～18時

場 所 富山市長江140-5

富山県富山児童相談所

▼なお、同様の電話相談は、平日に限り16時まで高岡児童相談所(高岡市本丸町12-12、☎0766-125-8314)においても行っていますので、県西部の方はこちらでもお気軽にどうぞ。

恩給欠格者のみなさまへ

恩給欠格者の方のうち、外地等に勤務した経歴を有し、加算年を含めた在職年が三年以上で、請求時において日本国籍を有する方には書状(内閣総理大臣各)を、さらに七十才以上の方には高齢者の順から銀杯を贈呈いたします。

書状及び銀杯の贈呈は、請求に基づいて行うこととなっております。

なお請求書類等は、県庁社会福祉課恩給援護係及び市町村に置いてあります。

詳しいことは、県庁社会福祉課恩給援護係又は、左記へお問い合わせください。

〒112 東京都文京区大塚五-三-一三
平和祈念事業特別基金(総理府所管)

電話 〇三一九四五-四七〇七
業務第一課
〇三一九四五-四七二二

戦後、ソ連又はモンゴルの地域において強制抑留中死亡された方の遺族のみなさまへ

戦後、ソ連又はモンゴルの地域において強制抑留中に死亡された方(帰還途上に死亡された方も含みます)のご遺族で、平成元年九月一日において日本国籍を有する方に、内閣総理大臣名の慰労品(書状・銀杯)を贈呈いたします。

慰労品の贈呈は、請求に基づいて行うこととなっております。

なお、請求書類は、県庁社会福祉課恩給援護係及び市町村に置いてあります。

詳しいことは、県庁社会福祉課恩給援護係又は、左記へお問い合わせください。

〒112 東京都文京区大塚五-三-一三
平和祈念事業特別基金(総理府所管)

電話 〇三一九四五-四七〇三
業務第二課
〇三一九四五-四七〇七

中国残留日本人孤児の特別身元引受人募集

県では、厚生省の「特別の事情を有する身元引受人制度」の実施に伴い、肉親に代わって特別事情判明孤児に対する身元引受人制度上の相談、定着・自立の助言等を行う特別身元引受人を募集しています。

- 資格 社会的信望が厚く、熱意をもって指導にあたることのできる方
- 期間 身元引受けから三年以内
- 登録など 適任者は登録され、孤児世帯が紹介されます。
- 応募方法 県庁社会福祉課に「特別身元引受人希望書」を提出します

▼問い合わせ 県庁社会福祉課へ

表紙 福岡町で楽しい、いも掘り
P 1 エッセイ 青柳 正美
P 2 ひと おもちゃ箱
クロースアップ
① 知事のまちまわり
② 地域リハビリテーション
フォーラム
③ 県民カレッジフェスティバル
④ 国際シンポジウム
in TOYAMA
特集 ふるさと産品
PIN UP TOYAMA
県庁探訪 婦人青少年課
ふるさとみてある記 朝日町
県からのお知らせ
編集後記

P 6
P 12
P 14
P 16
P 18
P 24



とやま心象⑱

「富山の建築百選」をみる

融合の美意識

砺波市郷土資料館(中越銀行本店) 明治42年/設計・長岡平三



建設当初は江戸黒と呼ばれる黒漆喰塗り本瓦葺であったが戦後現在のタイル貼りに替えられた他は原型を良く保っている。櫓をふんだんに使用し、精巧な彫刻技法によってコリント式やその他の西洋建築

この「擬和風」は彼の独創になるのかも知れない。また、施工者は井波の名工、松井角平と藤井助之丞であったから、あるいはこのアイデアはこの二人のものだったかも知れない。何れにせよこの作品は明治の越中の獨創性を表すものと言える。



解説/笹 覚暁(工学博士・金沢工業大学教授)
写真/風間耕司(日本写真家協会会員)

現金そのものを商品として扱う銀行が、その店舗を、犯罪や火災などに対して要心堅固なものにしようとするのは当然である。木と紙の建築、柱・梁構造主体で壁がなく開放的で鍵の付けようのない建築といわれる和様の建築伝統の中で、唯一この条件に合うのが土蔵造りであった。明治三十三年の高岡大火後の防火対策としての土蔵造りの奨励もあって、富山資本の銀行建築には土蔵造りを用いたものが多い。また、銀行即ちバンクは欧米資本主義の概念であり、組織、商売の方法など総ては西欧流に従っていた。だから銀行建築は西洋建築の手法で建てられるべきなのだが、土蔵造りは和様の中で、壁構造主体の西洋建築と同じ手法を持つ唯一のものだった。こうして和風土蔵造りと西洋建築スタイルが融合した、外観は和風主体で内部は洋風主体という独特の「擬和風」と言って良い銀行建築が成立した。この種の作品は近年取り壊されたものが多いが、中越銀行は代表的な作品であって、移築保存されたのは喜ばしい。

装飾を造っているインテリアは圧巻である。井波の彫刻の伝統がここにも生きているのである。設計者・長岡平三については、宮内庁の技師であったと伝えられている他は詳しいことは判っていない。唯、彼は同じ土蔵造りの富山資本銀行建築を金沢にも建てているので、

みなさんの相談窓口

- 県政については**
- 県民相談室 富山市新総曲輪1-7(県庁内)
☎(0764)31-4111(代) 31-3131(県民電話)
 - 高岡地方県民相談室 高岡市赤祖父211(総合庁舎内)
☎(0766)21-9411(代)
 - 魚津地方県民相談室 魚津市新宿10-7(総合庁舎内)
☎(0765)24-5311(代)
 - 砺波地方県民相談室 砺波市幸町1-7(総合庁舎内)
☎(0763)33-5151(代)

- 消費生活については**
- 消費生活センター 富山市安住町7-18 安住町第一生命ビル内
(一般相談は) ☎(0764)32-9233
(金融相談は) ☎(0764)33-3252
 - 消費生活センター高岡支所 高岡市本丸町7-1 本丸会館内
☎(0766)25-2777
- 交通事故については**
- 富山県交通事故相談所東別館1階 ☎(0764)31-4111内759
 - 相談110番** 家庭問題・悪質商法・覚せい剤など、どんな相談にも応じます。
☎(0764)42-0110
 - シルバー110番** 高齢者や家族の心配ごと、悩みごとに富山県高齢者総合相談センター 富山市舟橋南町5-14 社会福祉会館内
☎(0764)41-4110



見てください・聞いてください、県からのホットニュース

60 TV
テレビ広報

- 北日本放送 毎週日曜日 AM8:00~8:30
「こんにちは富山県です」
11/5 火災予防の最前線
11/12 がん対策の基本計画
11/19 青年・婦人の翼
11/26 新しい林業振興の拠点
- 富山テレビ 毎週日曜日 AM9:00~9:30
「110万人のひろば-クイズ/フォーカス-イン」

RADIO
ラジオ広報

- FMとやま 「ふれあいホットライン」
県内各地からホットな話題をクリアなサウンドでおとどけます。
毎週月~金曜日 AM9:30~9:35

NEWS PAPER
新聞広報

- 北日本、富山、読売、北陸中日 毎月第2土曜日
「県からのお知らせ」
毎月最終土曜日
「みんなの県政」
- 朝日、毎日 毎月第2、最終土曜日
「県からのお知らせ」

編集後記

★朝日町の松沢さんは、古尾谷雅人に似てとてもいい男だ。女性がしつかり練習に出てくるというのもうなづける。それにしても、ゲルメイツの皆さんにはご迷惑をおかけしました。練習風景を撮るのに二回も集まってもらったり、農作業の途中に取材に伺ったり。ゲルメイツの皆さん、どうもすみませんでした。(ゲルメイツの皆さんがこのページを読んで下さいませように) (M)

★特産物の特集、調べてみてわかったことは、まだ食べてないものがたくさんあったということ。牛肉の昆布じめ、タンポポコーヒ、そして小杉町のまつたけ。そういえば純真無垢だった幼なかりし頃、「これがまつたけだよ」といつか食べさせてもらったのは何だったんだろう。今、みているのは違うような気がするんだけども……。(T)

★宮崎勤事件で一躍脚光を浴びた(?) 残虐ビデオ。婦人青少年課では、青少年保護育成条例に基づいて取り締まりを始めているとか。改めてテレビやビデオの影響力の巨大さを感じるこの頃です。(N)



文化財保護強調週間11/1〜7

私たちの身の周りには、祖先が長い年月にわたってつくりだし、大切に保護してきた文化財が数多く残されています。このような文化財は、私たちの先祖のくらしの様子や考え方などを知るうえで、なくてはならない共有の文化的遺産です。

「文化財保護強調週間」の期間中、県下では各市町村等の主催による展示会や文化財見学会等の行事が開催されます。

あなたもぜひ、この機会に身近な文化財を見つめてみませんか。

いまある「私」をふり返るために

